

新基地建設反対名護共同センターニュース

ジュゴンの死骸に衝撃走る！

辺野古の藻場を追われ力尽きたか

沖縄本島付近に3頭しか残っていないとされてきた国指定の天然記念物・ジュゴンの死骸が18日、今帰仁村の漁港に上げられ全国に衝撃が走っています。今帰仁村や美ら海財団の担当者の調査によると、このジュゴンは、通称「個体B」で体長約3.5m、体重約500kgのメスでした。防衛局の直近の調査で見えなかったジュゴンは、わずか3頭で、残りは個体Bの子とみられる個体Cと個体Aで、いずれも行方が分からなくなっています。

今帰仁漁協元組合長の平良正男さん(96歳)写真は、私は戦前から70年以上も漁業をし、以前8年ほど今帰仁漁協の組合長をしました。しかし、ジュゴンを見たのはこれが初めてです。このジュゴンは辺野古の藻場を食糧にしていたと思います。しかし、新基地建設工事で藻場が壊され、追われるようにこの辺の海まで来て餌を探しまわり命が果てたのだと思う。私は辺野古の新基地工事がジュゴンの命を奪ったとみています」と話していました。



平良正男さん

安和で「赤土運ぶな」と抗議

今週、名護市安和の琉球セメント棧橋からの埋め立て用土砂の海上輸送に抗議する行動が強められています。20日は那覇市や糸満市などの島ぐるみ会議から100人を超える県民が安和ゲート前で、海上ではカヌーで抗議を続けました。赤土などを積んだダンプカーは、ゲート前で信号が変わるたびに1台ずつしか棧橋に入れず、通常のほぼ半分の土砂しか運搬船に積み込むことができませんでした。



- 「ジュゴンの死骸」の共同センターのSNSの報道に過去最高の数千件の怒りと悲しみのリアクションがあり、衝撃の大きさを物語っています。反応の一部を紹介します。
- 仕事を止められない私にも責任がある。辛いです。(女性)
- 本当にひどい姿ですね。ひどいうそつきアベ官邸、アベ自公政権許せん！(女性)
- どうとう犠牲者がでてしまいました。餌場を奪われては生きていけない。(男性)
- これは世界に発信すべきです。そもそも米国内には地元で反対運動があり、不可逆的な環境破壊が生じる場所には基地は造れないはず。(男性)
- 「人間の命も生物多様性に支えられている」という小学生でも知っている事実ですらわかっていない人間に我々は統治されているのです。(男性)
- ジュゴンは自分の命を懸けて新基地を止めようとしたと思う。翁長知事と重なって、悲しみと怒りで一杯です(女性)
- 米ではジュゴンが生息しているところは開発できないのに、日本は米軍基地を造るのにジュゴンを殺している。(男性)

「障がい者辺野古のつどい」へのメッセージ ④

1945年、敗戦を契機に戦争をしない決断をした日本人のひとりとして、これ以上の基地を沖縄につくることは反対です。普天間の滑走路を移すためなら、こんな大規模な基地はいらないはず！大きな力に敗けないで声を上げ続けましょう。世界中の平和を願って…



歌手 加藤登紀子

沖繩は、日本は誰のもの？ それは、そこに住む人たちのものだ。お金があるとかないとか、からだ健康とか障がいがあるとか、そんなことは関係ない。みんなひとつの命があつて、ひとつの主張や意見を持っている。それをもっと聞いてほしい。生かしてほしい。辺野古に集まって声をあげるみなさんの心意気と勇気を、心から応援しています！



精神科医 香山リカ

3月25日(月)
STOP! 土砂投入

海上大行動

要申込 カヌー7:00 テント2集合
乗船者 8:30 浜のテント集合
申込み henokobblue@outlook.jpへ
13:30~ 辺野古浜で連帯集会

主催・ヘリ基地反対協

ゲート前大行動

午前8:30~午後4:00まで座り込み
作業用ゲート前、Or テント村

主催・オール沖縄会議